

3Dモデルに ビジネスの芽

森ビル

自治体・民間事業者から制作受託

森ビルが、街づくり利用する3次元(3D)都市モデルの制作に力を入れている。これまで自社が関わった再開発事業などで3D都市モデルの模型やVR(バーチャル・リアリティー)仮想現実)の制作技術の高度化を進め、低コストで高品質のモデルを短時間で制作できる体制を構築した。3D都市モデルを必要としている自治体や民間の開発事業者などからモデルの制作業務を受注し、各地の街づくりや開発プロジェクトで川上段階からの事業参画につなげていく方針だ。

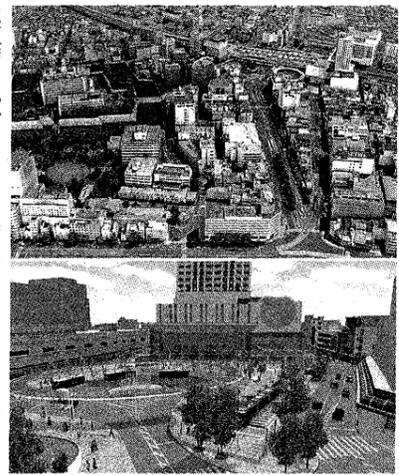
同社は、街づくりを制作した都市模型は絵(質感)データなどをV「鳥の目」になって俯瞰面積が約460平方メートルの制作に再利用し、05(ふかん)的に捉えよう上り、「世界でもナンバ年ころからより現実感のと、1990年代後半から1ワンの制作実績(都ある高品質モデルの制作ら都市全体や街並みを再市開発本部計画統括部)技術を研究。ゲーム用の現する模型の制作に力を「アイデア企画部」という。開発エンジンを使用した入れ、ノウハウを蓄積し都市模型の制作過程で独自の制作方法を開発してきた。同社独自の手法作成するテクスチャーし、VRの表現力と操作

性能を一段と高めた。



コンピュータグラフィックス(CG)で建物や街並みなど再現するVRは、開発事業の計画や設計・デザインなどを人の目で検討する際の重要なツールとして利用されているほか、事業関係者へのプレゼンテーションやプロモーション活動などにも活用されている。ITの先進技術を積極的に取り込むことで、3D都市モデルの制作期間

川上段階参画へ効果



森ビルが制作した福井市の中心市街地の都市模型①とVRによる駅前計画案

は短縮され、コストも低共機関や民間事業者など下。品質も向上した。そこから受託する事業だ。最近「同業他社からの制作依頼も目立つ」(メディア企画部)という。開発担当者らのコミュニケーションも密にして

3Dの都市モデル制作を担当するメディア企画部のスタッフは現在、制作業務だけでなく、営業活動も展開中だ。特に開発プロジェクトの川上に当たる計画検討から川下に当たる管理・運営までの各段階でVRの3Dモデルが有用なツールであることを強くアピールするなど、提案営業を一段と強化している。

同社は、モデル制作の発注元が自ら3D都市模型などを更新できるように制作マニュアルも提供。開発担当者らのコミュニケーションも密にして信頼関係を構築し、早い段階からのプロジェクトへの参画に結び付けていく考えだ。4月末には、都市模型が約4割を占めるとい。昨年は、福井市から制作依頼を受け、同市の中心市街地の3D模型とVRの両方を完成させた。制作準備(情報収集・現地撮影)やテクスチャの作成といった制作工程のほぼ半分にあたる作業は、3Dの模型とVRアビールの制作に共通する。模型とVRをセットで制作すれば、コストも大幅に削減

同社がこれまでに完成させた3D都市モデルは100件を超える。そのうち外部からの受託案件が約4割を占めるとい。昨年は、福井市から制作依頼を受け、同市の中心市街地の3D模型とVRの両方を完成させた。制作準備(情報収集・現地撮影)やテクスチャの作成といった制作工程のほぼ半分にあたる作業は、3Dの模型とVRアビールの制作に共通する。模型とVRをセットで制作すれば、コストも大幅に削減

【建設ICT】

1. 日経	2. 朝日	3. 毎日
4. 読経	5. 岐阜	6. 中勢
7. 産経	8. 静岡	9. 伊勢
10. 中部経済	11. 建通	12. 日刊工業
13. 建設通信	14. 信濃毎日	15. 日本海
16. 建設工業		

平成26年5月2日(朝)・夕) P 1